

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)アイスステージ東雲式番館

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数
					全体
Q 建築物の環境品質					3.4
Q1 室内環境			0.40	-	3.2
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20
1.3 吸音		-	-	-	-
2 温熱環境		3.0	0.35	3.1	1.00
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.3	0.50
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63
2 外皮性能	ペアガラスの採用および断熱材厚み確保	3.0	0.38	4.0	0.38
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30
3 光・視環境		3.3	0.25	3.3	1.00
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30
1 昼光率	昼光率計算による(Bタイプにて計算)	5.0	0.60	5.0	0.50
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面採用	4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理		-	-	-	-
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-
2 喫煙の制御		-	-	-	-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-
1 機能性		3.9	0.40	4.8	1.00
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60
1 広さ・収納性		-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	1Gサービスを採用	-	-	5.0	1.00
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.5	0.40
1 広さ感・景観	天井高2.5m確保	-	-	4.0	0.50
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-
3 内装計画	パースを作成し照明も含め全体的に計画、モデルルームにてモックアップ検査	5.0	1.00	5.0	0.50
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計	汚れが目立たないタイル等を選び、風除室も同時に扉が開かない。	4.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保	管理室内に清掃用流し等を設ける。	4.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	0.50	
1	階高のゆとり	2.9m以上確保	-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観法に基づきまちなみに調和した外観としている	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱材の厚みを確保	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.84	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		グリーン調達品(陶磁器質タイル)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		F☆☆☆☆を全面採用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2を低減する材料、システム、工法等を採用	4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車台数、待機スペースを確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの過半を満たす 屋外広告はありません	5.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	